

## 平成29年度 第11回 大学運営連絡会議事要旨

- 日時 平成30年3月16日（金） 13時38分～15時03分
- 場所 大学本部2階大会議室
- 出席者 学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，佐々木監事，早瀬副学長・全学教育機構長，板橋教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡工学系研究科長，山下附属病院長，米山附属図書館長，宮武地域学歴史文化研究センター長
- 欠席者 有馬農学部長
- 陪席者 山下学長補佐，倉岡学長補佐，豊田学長補佐，穴井学長補佐，宮脇学長補佐，岩本学長補佐，只木学長補佐，吉永学長補佐，永田海洋エネルギー研究センター長，日野低平地沿岸海域研究センター副センター長，郭シンクロトン光応用研究センター長，西郡IR室長，松前総合情報基盤センター長，北村監事

### 【 報告・連絡事項 】

- (1) 平成29年度CSIRT活動報告について  
松前総合情報基盤センター長から，本件について，2月9日時点で31件を対応した旨，大学院生の個人PCから不審な信号が検知されているケースが多い旨の報告があった。
- (2) 平成29年度標的型攻撃メール対応訓練の実施結果について  
松前総合情報基盤センター長から，本件について，全体のメール開封率は17.6%であり，前回より減少している旨，今後も継続的に標的型攻撃メール対応訓練を行う旨の報告があった。  
佐々木監事から，不審メールを開いてしまった場合，本人は分かるのか確認があり，松前総合情報基盤センター長から，実際の標的型攻撃メールは分かる場合と分からない場合がある旨の発言があった。
- (3) 同規模国立大学とのベンチマーク比較について  
企画評価課長から，本件について，法人化前に医科大学と統合した地方総合大学という同じ沿革を持つ8大学を同規模大学として選定し，ベンチマー

ク等について検討することで、本学の強みや特色、社会的な役割を確認するとともに、目指す方向性について、より一層明確にしていきたい旨、8大学の比較結果について報告があった。

(4) 財務分析2017「学内限定」について

財務課長から、本件について、運営費交付金収入及び学生納付金収入の減少を受けて、学内資源の最適化を行う必要がある旨、ベンチマークの可能性を踏まえた他大学との比較結果及び財務情報の活用からみえる取組みの提案等について報告があった。

(5) AI-Campusについて

兒玉理事から、本件について、学生・大学・企業をAIでつなぎ、学生生活と就職活動を強力に支援するサービスである旨、メインプログラムである学内お問合せAI及びリクルート支援システム等について報告があった。

工学系研究科長から、ライブキャンパスとの役割分担について確認があり、兒玉理事から、ライブキャンパスは情報管理システム、AI-Campusは学生支援システムというような役割分担ができる旨の発言があった。

芸術地域デザイン学部長から、資料のモデルが男性ばかりであるのは配慮した方がよい旨の発言があった。

(6) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

各学部等から報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

特になし。

以上